

講義コード		授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	日本語表現法基礎2							第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	<p>大学生として必要な、日本語の「話す・聞く・読む・書く」に関する表現力を身につけることを目的とする。          授業計画に示すテーマで毎回講義を行い、授業中には随時、作文実習を行う。          教科書付属のトレーニングシートを使うので、教科書を必ず持参すること。          留学生の場合は日本語能力試験N1レベル程度を目安とする。</p>								
到達目標	<p>大学生生活と勉学における、コミュニケーションに関する基本的な表現を幅広く理解し、必要に応じて用いることができる。          大学でのレポート・論文作成や就職活動、インターンシップの活動に、授業で学んだ知識を役立てることができる。</p>								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	<p>この科目では15時間以上の授業外学修を行うこと。          毎回の授業の後には、復習し再度作文演習をして理解を深めること。</p>								
授業計画	<p>【第1回】ガイダンス          【第2回】卒業した学校の先生を訪問するためのアポをとる（手紙の形式（縦書））          【第3回】大学の窓口で必要な申込みを行う（話し言葉の敬語）          【第4回】学内アルバイトの問い合わせをする（社会人・組織とのメール）          【第5回】他大学の図書館に問い合わせをする（電話のかけ方の基本）          【第6回】大学のイベントのスタッフとして参加者を迎える（社会人としての確かな応答）          【第7回】アンケート依頼の手紙（目的と理由を明確にする）          【第8回】ゼミで、見学に行くための問い合わせをする（問い合わせ内容の準備）          【第9回】旅行会社にてゼミ旅行のための問い合わせをする（複数項目の条件を示す）          【第10回】イベント準備で、機材の手配をする（イメージを言葉で伝える）          【第11回】母校に教育実習に行くための挨拶をする（礼状の書き方）          【第12回】OB・OG訪問のアポをとる（丁寧な問い合わせ）          【第13回】大学祭での講演の依頼をする（丁寧な依頼）          【第14回】地元の活動に協力を申し出る（考えを印象よく伝える）          【第15回】インターンシップ先に挨拶をする（配慮表現）</p>								
成績評価の方法	毎週提出する授業課題（80%）、授業への取り組み姿勢（20%）								
フィードバックの内容	重要な課題について授業中に解答例を見せて解説する。								
教科書									
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	学籍番号によるクラス指定有。詳細は時間割およびガイダンス資料を確認すること。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									